

# 医療安全のための臨床コミュニケーション 実習研修 2014 冬季

コミュニケーション・エラーを防ぐ能力開発

資料



会期 2014年1月10日(金)～12日(日)

会場 東京大学医学部本郷キャンパス

本プログラムで使用了資料は、参加費を徴収しない院内教育会の場合のみ、その資料を使用することを許可します。  
その他の場合はご利用できません。違反は司法の対象となります。

主催 国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局 国際医療リスクマネジメント学会本部

(〒)113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(電子メール) [head.office@iarmm.org](mailto:head.office@iarmm.org)

(Tel/Fax) 03-3817-6770

## (参加者への注意)

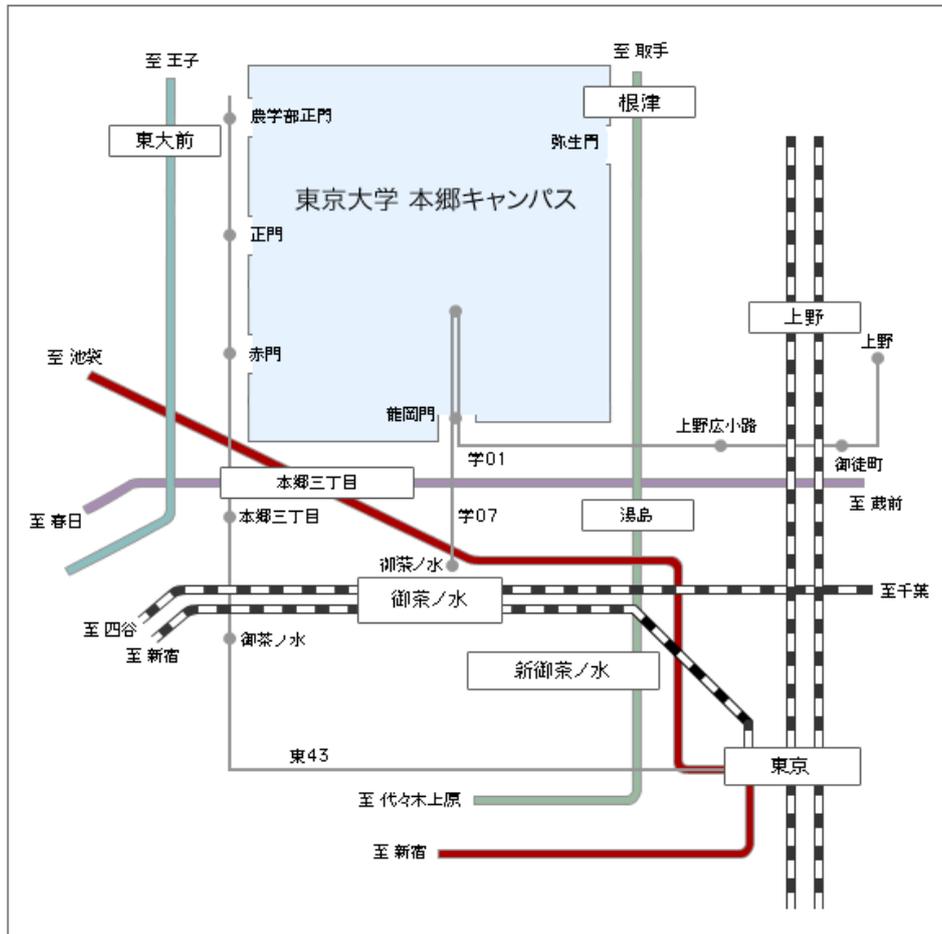
受付開始：1月10日午前8時  
1月11日午前8時30分  
1月12日午前8時30分

テキストおよび領収書は1月10日の朝に受付でお渡しします。

受講修了書は1月12日の終了時間の後にお渡しします。

多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者に迷惑になりますので遠慮ください。

## 交通案内



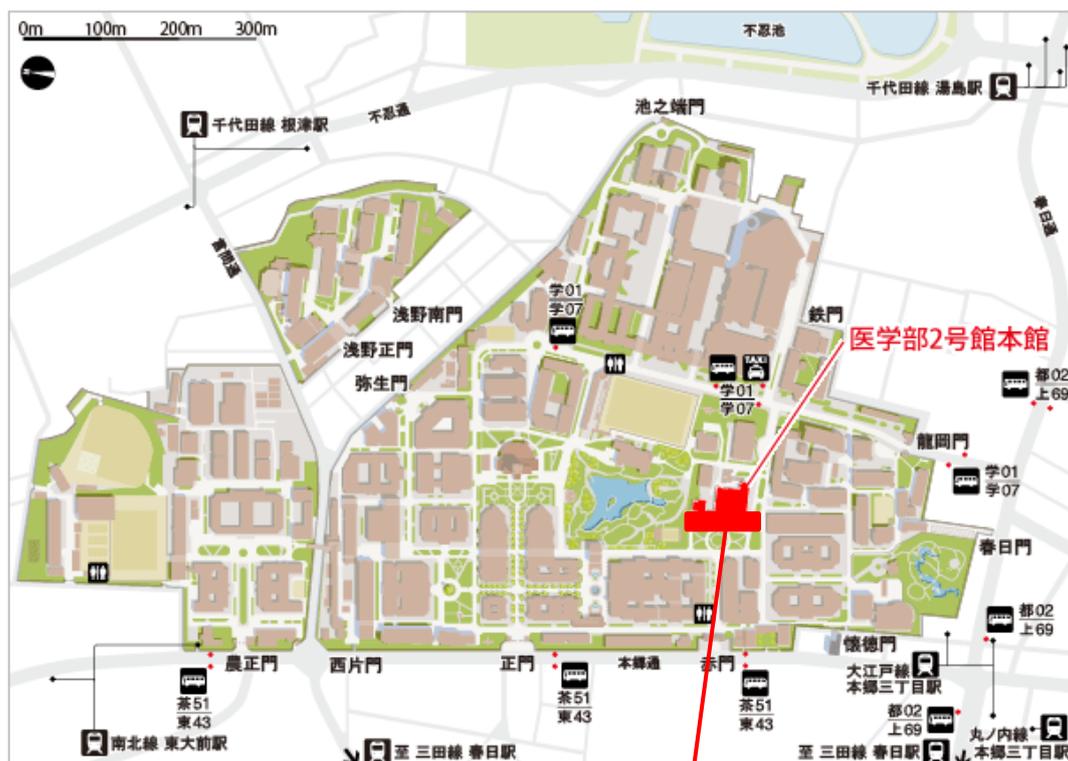
最寄り駅		所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)		徒歩8分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)		徒歩6分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)		徒歩8分
東大前駅(地下鉄南北線)		徒歩1分
春日駅(地下鉄三田線)		徒歩10分
御茶ノ水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) - 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) - 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶51駒込駅南口又は東43荒川土手操車所前行   東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学07東大構内行 - 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR山手線等)	都バス利用	都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 - 本郷三丁目駅下車
		都02大塚駅前又は上69小滝橋車庫前行 - 湯島四丁目下車
上野駅 (JR山手線等)	学バス利用	学01東大構内行 - 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

## 会場案内

TEL 03-3812-2111(大代表)

1月10日:医学部2号館本館3階

1月11日-12日:医学部教育研究棟13階第6、7セミナー室



※春日門については H24 年 8 月 1 日～H26 年 2 月(予定)まで通行止めとなりますのでご注意ください

## 飲食について

講演会場内での飲食は一切禁止されています。

飲食店は下記をお勧めします。

- 東大安田講堂地下食堂
- 東大正門～本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

# プログラム

第1日目 2014年1月10日(金)

東大医学部2号館本館

受付開始 午前8時

午前9時 開 会

午前9時～午前9時30分 全体ガイダンス

荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

午前9時30分～午前10時30分 (講義1) 医療現場における臨床コミュニケーションの重要性

荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

午前10時30分～午前10時40分 休 憩

午前10時40分～午前12時 (演習1:) 医療現場でのコミュニケーションを円滑に行う方策

荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

演習：患者やスタッフの心理の理解を深めるための非言語的情報の読み取り方

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後2時40分 (講義2) 納得いく医療を目指して：患者・医療者間の葛藤への対処

松村 由美 京大病院医療安全管理室室長、日本医療安全学会理事

午後2時40分～午後3時 休 憩

午後3時～午後4時10分 (講義3) チーム医療実践のための臨床コミュニケーション

中島 勲 東大病院医療安全対策センター・センター長、日本医療安全学会理事

午後4時10分～午後5時 (演習ガイダンス) 医療安全のためのチームメンバーの状況モニター

荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

課題：チェックリストなどをもとに自己の安定度をまとめる。

午後5時 第1日目閉会

## 第2日目 2014年1月11日(土)

### 東大医学部教育研究棟 13階第6、7セミナー室

入室開始 午前8時30

午前9時～午前12時 (質疑応答および休憩15分を含む)

(演習2) 医療チームメンバーの心身の安定の確保の重要性とメンバー相互の状況モニター

対立をうまく処理し、解決するための建設的な取り組み：適切な自己表現・DESC

荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後4時 (質疑応答および休憩15分を含む)

(講義4) 医療事故を防ぐ臨床コミュニケーション (仮)

松尾 太加志 北九州大学副学長、心理学教授

午後4時～午後4時10分 休憩

午後4時10分～午後5時 (演習ガイダンス) チームの安定に必要なメンバー自身の自己理解について

荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

午後5時 第2日目閉会

## 第3日目 2014年1月12日(日)

### 東大医学部教育研究棟 13階第6、7セミナー室

入室開始 午前8時30分

午前9時～午前12時 (質疑応答および休憩15分を含む)

(講義5) 医療安全と交流分析 (仮)

江花 昭一 神奈川大学保健管理センター所長

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後4時 (質疑応答および休憩15分を含む)

(演習3) 医療安全のための交流分析の方法 (仮)

江花 昭一 神奈川大学保健管理センター所長

午後4時～午後5時 研修会全体のまとめと質疑応答

司会・進行 荒木 登茂子 日本医療安全学会理事、元九州大学医療コミュニケーション分野教授

午後5時 全体閉会